

遠野人

遠野文化研究センターの活動に興味を持っていただけるような情報をお届けしています。今月は遠野文化まちづくりネットワーク交流会と、『遠野物語』発刊110周年のロゴについてです。

★筆者 ^{くまがい わたる} 熊谷 航

遠野文化研究センター主任。1980年、一関市藤沢町生まれ。遠野に移住し10年。市広報を担当後、遠野文化研究センターに異動。以後、遠野の文化発信に努める。



『遠野物語』発刊110周年を祝うイベントを開催



交流会で110周年を祝う参加者

2020年に発刊110周年を迎えた『遠野物語』を祝う「遠野文化まちづくりネットワーク交流会『遠野物語』ビックバン110」を1月10日に開催しました。『遠野物語』

や遠野の文化に関心を寄せる110人が参加し、110周年の幕開けを盛大に祝いました。

この交流会は、『遠野物語』をさらに広く周知し、文化を活かしたまちづくりの活動をしている個人・団体との新たなネットワークを構築することを目的に、昨年から開催。文化による海外交流などを記録したオープニング映像、語り部の養成などを目的にした「語り部1000人プロジェクト」の語り部認定証授与式のほか、市民バンド「AEL音工房」が『遠野物語』をイメージした曲を披露しました。

エンディングでは『遠野物語』発刊110周年を発信するための記念ロゴ(右記)を発表。参加者は『遠野物語』の価値を再確認し、官民が一体となって広く発信していくことを誓い合いました。

★講座のお知らせ 1

遠野文化研究センター講座

参加無料 沢里武治がみつけた「光のできたパイプオルガン」とはー宮沢賢治の口語詩『告別』ー

宮沢賢治の愛弟子・沢里武治についての講座を開催し、沢里が設立した大正琴の「愛琴同趣会」が曲を披露します。

■日時 3月14日(土)10時～12時

■場所 あえりあ遠野中ホール

■講師 遠野文化研究センター研究員 菊池 弥生 氏

■申し込み 前日までに電話で申し込み

(一財)遠野市教育文化振興財団 TEL:62-6191

『遠野物語』発刊110周年のロゴについて



※縦型、横型、囲い型の4種類があります。

交流会で発表したロゴは、『遠野物語』発刊110周年について、「ふりかえる・つなぐ・ひらく」をコンセプトに作成しました。このロゴは皆さまが令和2年度まで予定しているイベントのチラシなどにもご利用いただけます。データは無料で提供しますが、マークの使用にあたっては、あらかじめ使用申請が必要です。ご相談・お申込みは、下記問い合わせまでお願いします。

ぜひご活用いただき、『遠野物語』発刊110周年と一緒に盛り上げていきましょう！

◎活用例：チラシ、ポスター、パンフレット、名刺、ハガキ、商品シール、ホームページ ほか

★講座のお知らせ 2

『遠野物語』を読んだことのない人のための講座

ほんとうにはじめての『遠野物語』

遠野の地域文化の魅力や情報の発信などを行っている組織「to know」が、『遠野物語』をやさしく解説するイベントです。

■日時 3月1日(日)13時～16時

■場所 遠野市立図書館視聴覚ホール

■参加料 2,500円(遠野市民1,500円、中学生以下無料)

定員50人(定員になりしだい締め切り)

■申し込み to know事務局 TEL:080-5451-0290

★問い合わせ:遠野市東館町3-9(遠野市立博物館内)/TEL:60-2800/FAX:62-5758/MAIL:tono100@city.tono.iwate.jp

各種表彰

令和元年度「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」

工夫重ね良質な和牛生産

遠野緑峰高校 作物畜産研究班 (生産技術科3年)

同班は、昨年行われた第2回和牛甲子園に向けた和牛の肥育について研究文を作成。昨年末、同コンクールで全国4位にあたる佳作と経済同友会賞を受賞しました。研究文では、良質な牛肉を生産するための取り組みを紹介。血統を考慮した交配や牛のストレスを減らすための飼育環境整備についてまとめ上げました。リーダーの細野直哉さんは「改善策をみんなで考え、愛情を込めて実践することで良質な牛を育てることができた」と笑顔で振り返りました。

キラッと、遠野人。



後列左から/菊池浩之、佐々木愛斗、菊池将太、瀬川陸人、細野直哉
前列左から/菊池佳純、太田愛蘭、千田杏奈、金野涉弥 ※敬称略

法務大臣表彰

更生保護活動に長年尽力



遠野地区保護司会

市川 利子さん(62歳、松崎町)

菅原 直徳さん(63歳、宮守町宮守)

市川さんと菅原さんは、平成14年9月から現在まで17年余、保護司として更生保護活動に尽力。法務大臣表彰を受賞しました。犯罪や非行の予防、罪を犯した人の社会復帰を支える活動を実施。地域や学校では、非行などに関する相談にあたるなど啓発活動にも力を注いできました。市川さんは「関係者の皆さんに支えられ活動を続けることができた。今後も、みんなが安心して過ごせるまちづくりに努めたい」と決意を新たにしました。

令和元年度いわて農林水産躍進大会



岩手県農林水産業表彰

遠野地方森林組合
代表理事組合長
濱田 平八郎さん(73歳、松崎町)

意欲ある担い手賞

駒込 欣也さん(50歳)
里奈子さん(49歳)
(上郷町)

厚生労働大臣表彰

長年にわたり地域福祉に貢献



青笹地区民生
児童委員協議会

会長 菊池良子さん

和田 八重子さん(64歳、綾織町)

青笹地区民生児童委員協議会と和田さんが厚生労働大臣表彰を受賞しました。同協議会は、長年にわたり他団体と連携しふれあいサロン(笛吹き園)などの活動を実施。菊池会長は「関係機関との連携をさらに強化し地域に貢献したい」と思いを込めました。和田さんは昭和63年から31年余看護師や介護支援専門員として市の在宅福祉をけん引しています。和田さんは「皆さんの力添えあつての受賞。力の限り支援を続けたい」と意欲を新たにしました。

岩手の農林業振興に貢献

濱田さんは平成11年に遠野地方森林組合理事、同17年から組合長を歴任。将来を見据えた森林管理や林業技術普及の取り組みが評価され、岩手県農林水産業表彰を受賞しました。「環境を保全しながら、森林資源を持続可能な形で利用していくことを推進したい」と力を込めます。

意欲ある担い手賞を受賞した駒込さんは、遠野で唯一トルコギキョウとアルストロメリアを専業で栽培。最高級の品質を誇る「農の匠」(花巻農業協同組合認定)として、技術指導を行っています。「今後も丹精を込めて品質の維持、向上に努めたい」と意欲を燃やしました。